

三省堂中学国語教育

ことばの学び

No.9

読書で広がる
学びと世界。



【エッセイ】簡単に何かができると思わないほうがいい

(橋本淳司)

【授業アイデア】本の魅力を紹介するプレゼンテーション
【連載】社会に開かれた教育課程の実現にむけて

ESSAY.

エッセイ

簡単に何かができると 思わないほうがいい

橋本 淳司

水問題を研究している高校生たちと東京大学に行つた。生徒は四、五人でチームを組み、思い思いの水問題を選んで研究してきた。例えば、「インドの生活排水汚染をなくす」「雨水活用で洪水を緩和する」「アフリカで手洗いの習慣を広める」など。堂々とプレゼンし、水の専門家にコメントをもらう。大学教授から褒めてもらい、生徒たちはうれしそうだった。

だが、一つの質問をきっかけに生徒の心は曇った。ある生徒が「水問題を解決するためには、私たちが明日からできることは何でしょうか」と聞くと、一人の教授が「簡単に何かができるなんて思わないほうがいい」と強い口調で言つたのだ。生徒たちは驚き、落ち込んだ。

帰りのバスは暗かつた。生徒は「本当に何もできないんですか」と聞いてきた。僕は「教授の言葉の意味をいつしょに考えよう」と答えた。教授は「できることはない」と言ったわけではなく、「簡単にできることはない」と言つたのだ。自分ができる簡単な方法で、

問題を解決したような気になる。でも、あとから考えてみると問題は解決していかなかつた。そんな経験はないだろうか。一人の生徒がこんな話をしてくれた。「赤ちゃんが泣いているときに、その子の母親がスマホで動画を見せたんです。赤ちゃんは泣き止んだけれど、それでよかったですのかなって。本当は抱っこして欲しかったんじゃないかな。」

別の生徒はこう言つた。「今日のプレゼンで『水問題をSNSで情報発信することで問題を解決する』って発表したんですが、それは自分にできる簡単なことで自己満足しているんじゃないかなって、今思いました。」

自己満足という言葉にどきつとした。僕も似た経験がある。水不足のインドの村に、雨水を貯めるタンクを作つた。でも、現地の人には使わなかつた。タンクは風雨にさらされ、すぐに壊れた。本当は、雨水がきれいなことや生活や農業に使えることをじっくり伝え、現地の人に「使いたい」という気持ちになつてもらうことのほうが先だつたのではないか。

教授に質問した生徒はこう言つた。「会議などで、一人ひとりができることから始めましょうっていうけれど、その瞬間に考えることを止めてしまったことがあります。」

「おそらく教授は、簡単な方法を疑つて、本当の問題を見る目をもとうと言つていたんじゃないかな。いろいろ考えると、自然に考える間の力の限界に気づくかもしれない。それでも命と生活に関わる問題の解決法を探し続けることが大事だと言つっていたのかもしないやないかな。」

生徒の一人が「頭がぐちゃぐちゃする」と言つた。「それはとてもいいことだよ。すぐには整理しようとしないで、長い時間、シチューを煮込むように考え続けていくんだ。」

バスのあちこちで「シチュー煮えてる。」「煮えすぎてぐちゃぐちゃ。」という笑い声が聞こえてきた。窓の外に月が出ていた。



（プロフィール）
はしまとじゅんじ

水ジャーナリストとして水問題やその解決方法を調査、発信。アクアスフィア・水教育研究所を設立し、自治体、学校、企業などと連携し、「みずから考える人」、「水を語れる人」を育成する。近著に『日本の地下水が危ない』（幻冬舎新書）、『100年後の水を守る 水ジャーナリストの20年』（文研出版）など。

「これからのことばの学び」

読書で広がる 学びと世界。

（世界思想社）

二つの読書

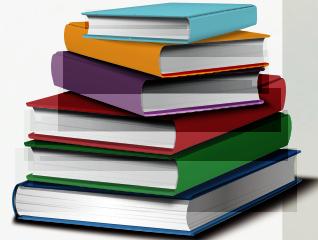
岡山大学大学院教授 田中 智生



1・情報活用能力と読書活動

平成29年告示の『中学校学習指導要領』「総則」の「第2 教育課程の編成」「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」では、言語能力と並んで情報活用能力も、学習の基盤となる資質・能力として、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図り、育成していくことが求められている。さらに「第3 教育課程の実施と学習評価」においては、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」として、学校図書館の利活用を図り、読書活動を充実することと、地域施設を利用した、資料を活用して情報を収集することについて言及している。目的的な読書活動に教科等横断的に取り組んでいく中で、国語科は中核的な役割を担うことになる。

その国語科における読書の扱いについて



たなか のりお

岡山大学大学院教授
著書に「丸ごと読み」や「おもしろ見つけ」に関するものその他、『言語コミュニケーション能力を育てる』(世界思想社)など。

は、「国語科の学習が読書活動に結び付くよう「知識及び技能」に「読書」に関する指導事項を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する「言語活動例」が『中学校学習指導要領解説国語編』に示された。

そこで育てることが期待される読書の機能は、各学年の目標の「学びに向かう力、人間性等」に対応する部分に示されている。一つには、「読書を生活に役立て……」(第2学年)という総則と同様の目的的な読書であり、もう一つは、「読書を通して自己を向上させ、我が国の一言語文化に関わり、思いや考えを伝えあおうとする態度を養う。」(第3学年)という人間性をはぐくむ読書である。

一つは、「読書には、次のような意義と効用がある」ということをいえるようになるかどうかを問題にするのでなく、実際におもしろいと感じたり、役に立つたと感じたりすることを大事にしたい。

「読書には、次のような意義と効用がある」ということをいえるようになるかどうかを問題にするのでなく、実際におもしろいと感じたり、役に立つたと感じたりすることを大事にしたい。



2・文学読書と生活読み

読書が文学読書だけを指すものではなく、目的的な読書活動、生活読みが重視されてきたことは大きな成果である。一方、何かを調べるために読むのではなく、読んでおもしろいと刺

激を受ける読書(これに文学読書も含める)も忘れてはならない。

後者については、分析読書への偏りが是正され、点検読書(限られた時間で、目次や見出し、奥づけなどから、何が書かれているかをチェックする読み方)や比較読書(類似のテーマに関する複数の文書を比較する読み方)の読み方に関する学習への取り組みも進められている。ブッククラブやリテラチャーサークルなどの取り組みもその一部だろう。

「読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。」(第1学年)や、「読書の意義と効用について理解すること。」(第3学年)の項目に示されている「理解する」は、活動を通して文学読書と生活読み、二つの読書を経験し、実感することが求められる。

「読書には、次のような意義と効用がある」ということをいえるようになるかどうかを問題にするのでなく、実際におもしろいと感じたり、役に立つたと感じたりすることを大事にしたい。

新学習指導要領に応じた読書指導

新潟大学准教授 足立 幸子



新学習指導要領における読書の位置づけ

平成29年3月告示の『中学校学習指導要領』（以下新学習指導要領）では、国語科における読書の位置づけが変更になりました。はじめに、新学習指導要領で読書について述べられており部分を取り上げます。

「第1目標」には、「読書」に関する文言はありません。

「第2各学年の目標及び内容」のうち、各学年の目標については、「学びに向かう力、人間性等」に読書が位置づきました。ただし、現行でもあるのはそれ以前の学習指導要領でも、読書は読むことの中で態度的な取り扱いを受けていましたので、「学びに向かう力、人間性等」の「～しようとする態度を育てる」のところに入れられたのは、これまでと同様の扱いとみることができます。

しかし、各学年の内容には目標の「学びに向かう力、人間性等」に対応するものがないので、読書は「知識及び技能」の「(3)我が国の言語文化に関する事項」に位置づけられました。このことの意味をあとで考えてみたいと思います。

一方で、各学年の内容「思考力、判断力、表現力等」としては「C読むこと」の(2)

言語活動例のウに「本などから情報を得て活用する活動」が示されています。

「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」では、1(6)で、国語科における読書の指導を、「他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。」が示されています。その他、2(2)情報機器の活用、2(3)学校図書館などの活用、3教材についての配慮事項も、読書の指導に関連したものと考えることができます。

「知識及び技能」への位置づけの意味とこれからの読書指導

前述のように、新学習指導要領における位置づけの最大のポイントは、読書が「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」ではなく、「知識及び技能」に位置づけられたことです。このことの意味を三點にわたって捉え、新学習指導要領に応じた国語科における読書指導について考えてみたいと思います。

三点めに、「知識及び技能」というと、機能的指導と体系的指導の両方が可能になります。機能的指導とは、「思考力、判断力、表現力等」の指導を通して行うものです。例えば「C読むこと」の単元の中で、関連させて読書について取り扱うものです。体系的指導とは、「知識及び技能」の特定の事項だけを取り上げて指導したり、まとめて指導したりすることができます。「思考力、判断力、表現力等」に関わらず、読書だけを指導する単元を組むことができます。以上のことをふまえ、本稿でも機能的指導と体系的指導のアイデアを一つずつ挙げてみました。

このように、これからの読書指導は、「知識及び技能」として、読むときの目的をはつきりさせ、「C読むこと」だけでなく「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」でも機能的に、あるいは読書のことだけに特化して体系的に行っていく必要があるのです。

二点めは、現行学習指導要領で「C読むこと」の一指導事項にすぎなかつた「読書と情

交流型読み聞かせを入れた 関連図書の紹介

関連図書とは、主に読むことの教科書教材に関連する図書のことです。平成28年度版『現代の国語』（三省堂）の「私の本棚」で挙げてある本も関連図書にあたります。教科書教材との関連の仕方には、①同じ読み方で読める、②同じジャンル、③同じ作者、④同じテーマ、⑤背景知識を補うものである、の五通りあると私は考えています。もちろん、①～⑤の複数に当てはまる場合もあります。

関連図書を何となく紹介しただけでは、生徒はなかなかその本を読もうとしません。そこで紹介するときに、教室に現物を持参し、①～⑤のどの関連なのかを強調したうえで、一部読み聞かせ（範読）を入れてみると効果が上がるのではないか。

交流型読み聞かせとは、通常の読み聞かせに加えて、読み手（教師）と聞き手（生徒）、あるいは生徒どうしの交流が行われるもののことです。教師は、読んでいる最中にはたらいている思考を口に出してモデルを示したり、生徒どうしに考えを話し合わせたり、続きを読むきを予想させたり、生徒自身が考えを述べたりすることを取り入れながら、読み聞かせを行っていきます。単なる紹介に比べてはるかに印象に残りますし、教科書教材で学んだことを相対化するのにも効果があります。

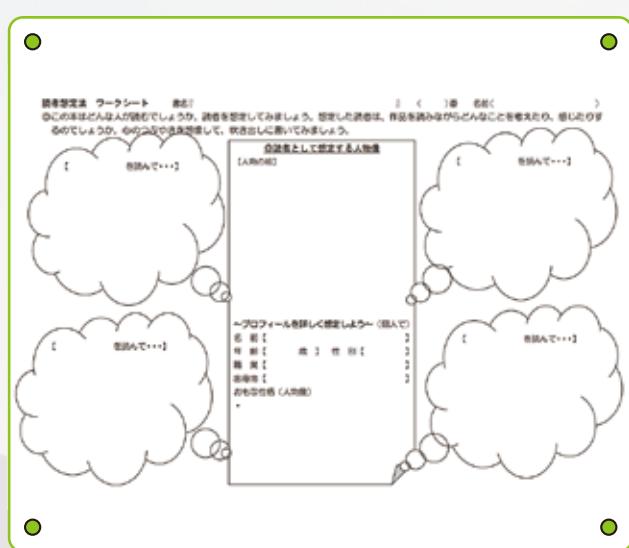
筆者と読者の立場を 意識させる読者想定法

- 二年生の指導事項には「エ 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。」がありますが、筆者の立場だけでなく読者の立場によつても、読まれることは異なってくると思います。文学では読み手によって読みが違うということは一般に理解されていますが、むしろ文学以外の実用的な文章やノンフィクションこそ、筆者や読者の立場の違いがはつきり現われるのです。そのことを意識させる指導を、日常的に目にすることが多いノンフィクションの新聞またはインターネット上の記事のコピーを用いて、「読者想定法」で扱ってみましょう。三時間扱いが理想ですが、短い記事を使えば一時間でも可能です。
- (1) 一時間め
- 記事をまずは生徒自身の立場で読む。
 - 筆者がどのような立場の人か、また、いつどのようなメディアに出された記事かを明らかにし、四名程度のグループで、どのような立場の読者がその記事を読むか、想定できる読者のリストを作成する。グループの人数の二倍（例えば四名グループなら八名）以上の想定読者がほしい。
 - 想定読者のうち対立した人物をグループの

人数分選び、生徒が一人ずつを担当することにする。担当する一人のプロフィールを作り、記事を四つ程度の部分に分け、各部分を読み終わるたびに、担当した想定読者が思いそなうこと（読者反応）を書いていく。

(3) 三時間め

- グループでそれぞれが担当した想定読者のプロフィールと読者反応をシェアする。
- 「想定読者」としての読書経験を振り返り、感想を書く。



あだちさちこ

新潟大学人文社会系准教授。
筑波大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。専攻は国語科教育学、読書指導論。読書・読むことの評価、主な著書に「読者想定法を使用した説明的文章の指導」「フリーライドとテレジンの小さな画家たち」の読者反応に着目して」「人文科教育研究」43(人文科教育学会二〇一六年)がある。

授業アイデア【2年】

この授業について

本の魅力を紹介するプレゼンテーション

焼津市立豊田中学校
石田 智子

読書会からプレゼンテーションに展開する総合的な授業。まず読書会(リテラチャーサークル)で四つの視点で作品を読み深め、読書感想文を書く。次にプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションでは、本の魅力を再確認するだけでなく、聞き手にわかりやすく伝えるために必要なことについても考えることができる。

学習目標

評価規準

- 読書会で読んだ本の魅力について、その本を知らない人を想定して話そうとしている。
- 「国語への関心・意欲・態度」
- 「読書会で読んだ本の魅力について、その本を知らない人に伝えられる。」
- 「話す・聞く能力」
- 「本の魅力とその根拠が論理的に展開された構成を考えて話している。」
- 「本の魅力を伝えるために必要な資料を効果的に活用して話している。」
- 「言語についての知識・理解・技能」
- 「話し言葉と書き言葉との違いについて理解している。」

導入

学習の流れ(全9時間／本時は第5時)

★教師がモデルパターンを示す。

プレゼンテーションの構成を捉える。

展開1

本の魅力と紹介テーマ、聞き手が興味をもつ点を各班で確認する。

反応等
生徒の

『一〇五度』(佐藤まさか著)を読んだ班
中3の真(主人公)と友達、家族との関係や進路の悩みなどに共感できる作品。
本の魅力は「人生について考える」、紹介テーマは「人生(自分が進むべき道)」、
聞き手が興味をもつ点は「一〇五度の関係とは?」と、班で意見をまとめていた。



COLUMN

社会に開かれた教育課程の実現にむけて
vol.3

「社会に開かれた

国語科の教育課程と授業」

吉田和夫

1 社会に開かれた国語科教育課程

教科の中でこそ「社会に開かれた教育課程」の実践が必要ではないかと考えています。前号では①ビジョンの共有、②学習プロセスの開示・共有と参画、③学習結果の共有という観点から論じました。

では、このような方向から考えられる国語科授業の具体とはどのようなものでしょうか。

2 社会に開かれた国語科の授業

① 応募を活用した作文教育の実施

国語科はあらゆる「コンテンツ」を題材に取り上げられます。授業の中でもさまざまな作文コンクールに挑戦してはいかがでしよう。欧米の言語教育には「出版プロダクト」の発想があります。優良な作品を学校外に送り審査してもらいうといふのです。氏名を伏せ、地域の方にも作品選考に入つてもらい、推薦を得て応募します。どの学校でも実践できる「社会に開かれた国語科の授業」になります。

② 授業でのグループ協議への参画

昨今はどの授業でも、話し合いを多く取り入れつつあります。そこで、地域の方や保護者にファシリティーターとして各グループに入つてもうらしくみを作つてはどうでしようか。いつもとは異なるメンバーで話し合いをすることは生徒にとっても有益です。また、話し合いの質について直接指摘を受けたり、それを

テーマに合わせて、どのような内容をどんな順番で並べるか、プレゼンテーションの構成を考える。

本の魅力をわかりやすく伝えるために、どんな資料が必要かを話し合う。

展開2

この作品のキーワードである「一〇五度の関係」について、互いに支え合はけど頼りすぎない関係をわかりやすく説明したい。「二冊の本で一〇五度を表そうとしたが、上手くいかない。」「トランプタワーだったらしいんじゃない?」など、アイデアを出し合っていた。

まとめ

プレゼンテーションでの自分の役割を確認する。

授業のまとめ

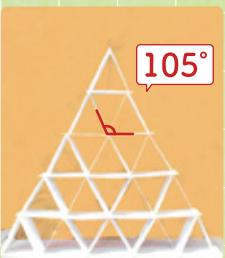
- 次時以降各班五分程度の発表を行った。発表は動画撮影し、次時以降各班五分程度の発表を行った。発表は動画撮影し、単元の最後に発表動画を見ながら振り返りをした。
- プレゼンテーションで本の魅力を伝えるには、その本を多角的な視点で分析し、それをふまえて魅力を主張することが大切だ。
- この本は「一〇五度の関係」をキーワードにして、自分たちも共感できることが描かれているところが魅力だ。それが伝わるように、キーワードをプリップに書いたり、自分につなげたりして工夫できた。
- トランプタワーの写真を使うことで、より説得力のあるプレゼンテーションができた。

読書会を通して「読むこと」「書くこと」で捉えた本の内容を、「話すこと・聞くこと」の学びにつなげることで、多角的な視点で本の魅力を語ること、相手意識をもつた話し方や効果的な資料の活用だけでなく、必要な情報の収集や学んだことを次の学びに生かす意欲、読書が自分の生き方につながるなど、読書の価値を実感する生徒の姿が見られた。話すことが苦手な生徒も、仲間とともに活動することで安心感が生まれ、話すことの楽しさを感じていた。

(この実践は前任校の焼津市立大村中学校で行った。)



『一〇五度』のグループ
トランプタワーの写真を
提示している場面



トランプタワー

向上させる手立てについて意見をもらったりするので、協議の質も高まります。以前研究授業の参観者に授業に入つてもらうことがありました。とても効果的でした。一グループ十程度の話し合いに参加してもらうことで、外部の方々とともに共創の学びを実現するこどが可能です。

③国語科でのパフォーマンス評価への参画

国語科の授業ではスピーチやプレゼンテーションによる報告や発表が多く行われています。その際の評価を、第三者である外部の方にもお願いしてはどうでしょうか。あらかじめ生徒と同様評価基準を示しておき、A～Dの評価を若干のコメントとともにお願いします。これは有識者なく、他学年の保護者や地域の方など、どなたにでも可能だと考えます。

④国語科授業相談役の依頼

企業には外部の取締役や監査、理事が置かれています。「ミュニティ・スクール」には学校運営協議会などが設置されます。地域の方や保護者から、国語科の授業だけに関わる相談役等の外部協力者を募つてはどうでしょうか。読書活動の支援、放課後の補習授業、公民館など地域教育施設との連携など、国語科の授業について、学校内外を有機的につなぐ橋渡し役をしてくれる方々となるのではと考えます。

社会との関わりの中で、これから子供たちの豊かな国語力を育っていく。その実現を期待しています。

よしだかずお

全日本中学校国語教育研究協議会前会長。
現在、玉川大学客員教授及び「一社」教育デザイ
ン研究所代表理事等。最新刊に『社会に開
かれた教育課程』を実現する学校づくり』(編
著、学事出版)。

中学生向け国語辞典・漢和辞典のトップセラーにシロクマ版が登場！
 定評ある内容はそのままに、装丁を一新して、
 いつもそばに置きたい楽しい辞書を実現しました。



例解新国語辞典

第九版 シロクマ版

最新の教科書から
 言葉を集めて全面改訂。
 圧倒的な情報量で語彙を豊かにし、
 中学受験から高校受験まで
 強力にサポート。

林四郎 監修／篠崎晃一（編修代表）
 相澤正夫・大島資生 編著
 B6変型判 1,360ページ 本体 2,600円+税
 ISBN 978-4-385-13683-7

例解新漢和辞典

第四版 増補新装版 シロクマ版

新「常用漢字表」完全対応の改訂版。
 類書中最多の親字数、
 伝統的な部首配列。
 文章作成にも役立つ
 熟語の用例を豊富に掲載。

山田 俊雄（編修代表）
 戸川芳郎・影山輝國 編著
 B6変型判 1,328ページ 本体 2,600円+税
 ISBN 978-4-385-13682-0

三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

三省堂教科書・教材サイトには、日々の授業に役立つ
 ワークシートや多彩なWebコラムを掲載しています。

新学習指導要領「移行措置」関連資料

- 平成28年度版『現代の国語』『現代の書写』資料ダウンロード
 〈中学校国語用〉
 ● ワークシート：都道府県名の漢字《読み1・2／書き1・2》
 ● 教材：「ことば発見 方言と共通語」
 〈中学校書写用〉
 ● ワークシート：都道府県名の漢字《楷書1・2／行書1・2》

※平成29年3月に中学校の新しい学習指導要領が公示され、平成33年度から全面実施となります。これにより、移行期間(平成31年度・32年度)には、中学校国語科では特例措置がとられることがあります。つきましては、移行措置資料をご活用いただき、学習指導を行っていただきたく存じます。



株式会社三省堂

「教科書・教材サイト」<https://tb.sanseido.co.jp/>

〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 03-3230-9411(編集)・9412(営業)

- | | | |
|---------|--------------------------------------|--------------|
| ● 大阪支社 | 〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地2-5-3 | 06-6341-2177 |
| ● 名古屋支社 | 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F | 052-953-9211 |
| ● 九州支社 | 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 | 092-531-1531 |
| ● 札幌営業所 | 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F | 011-616-8722 |